

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-5-2 人材の育成・定着
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 田中 麻里	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	学卒者等の職業訓練事業		
目的	(1) 対象	高等技術校が実施する、普通課程・短期課程(若年者)の公共職業訓練の受講者	
	(2) 意図	地域の実情に応じ、地域産業に必要な多様な技能・知識を習得し、就職につなげる。	
事業概要	地域産業が必要としている技能・技術を習得させ就職させるために学卒者等に対して職業訓練を実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		94.0	94.0	94.0	94.0	%
		取組目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	
	式・定義	実績値	93.8	97.5				%
		達成率	-	97.5				
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	111,129	123,220
うち一般財源 (千円)	111,129	123,220

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

・平成28年度修了生の就職率は前年度を上回った。(H27修了生の就職率93.6%→H28年度修了生97.5%)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

就職率100%を達成した訓練科が増加した(5科→6科)
 東部校 美容科、自動車工学科、住環境・土木科、ものづくり機械加工科、ハウスアート科
 西部校 OAシステム科、建築科

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

一部の訓練科の定員が確保できておらず、業界に必要とされる人材を供給できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

職業訓練の受講による、よりよい就業イメージを提供できていない

③原因を解消するための「課題」

学生等にとって魅力的なカリキュラムを提供し、入校生を確保していくことが必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

訓練科ごとに関連する業界団体や企業と構成する運営協議会等を活用し、意見を取り入れながら訓練カリキュラムの改善・向上を図る。また、施設内を活用した在職者訓練の可能性を検討する。
 「ものづくり体験フェア」や体験教室オープンキャンパス、施設見学等の受け入れを引き続き実施し、学生等に対し技能の魅力発信や情報発信に努めていく。